



成城大学
国際編集文献学研究センター
Research Center for Textual Scholarship
Seijo University

第1回 ワークショップ シンポジウム

2022年6月18日 (土)

会場：成城大学 9号館 グローバルラウンジ

定員：各50名 (事前申し込みが必要です)

11:00~12:30

ワークショップ

ドイツ編集文献学を学ぶ その1

報告者：森林 駿介 (筑波大学大学院博士課程)

冨塚 祐 (成城大学大学院博士課程)

コメンテーター：矢羽々 崇 (獨協大学外国語学部教授)*

モデレーター：明星 聖子 (成城大学文芸学部教授)**

14:00~15:30

シンポジウム

イタリア編集文献学の世界 その1

「世界初のビジネス書」の発見と刊行

——ルネサンスの商人・人文主義者ベネデット・コトルリをめぐって

伊藤博明 (専修大学文学部教授)*



コメンテーター：原 基晶 (東海大学文化社会学部准教授)*

納富 信留 (東京大学大学院人文社会科学研究科教授)*

モデレーター：明星 聖子 (成城大学文芸学部教授)**

* 成城大学国際編集文献学研究センター 特別客員研究員

** 成城大学国際編集文献学研究センター センター長

■参加費：無料

■参加申し込み：

6月14日(火)までに下記URLまたはQRコードから
Googleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/1DNdT5wi7rU6ngZX8>

■問い合わせ：

成城大学国際編集文献学研究センター事務局

E-Mail : ts-office@seijo.ac.jp



主催：成城大学国際編集文献学研究センター

◆令和4年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)

「第三世代としての編集—古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」 (研究代表者：明星聖子) による事業

科研費
KAKENHI

シンポジウム内容

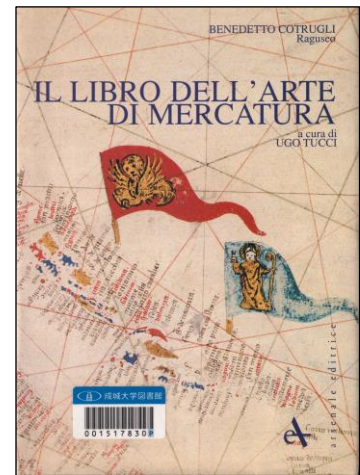
1416年にアドリア海に面するラゲーズ（現在はクロアチアのドゥブロヴニク）に生まれ、1469年にナポリで没したベネデット・コトルリは、イタリア国内だけではなく、スペインのバルセロナでも取り引きした、きわめて有能なグローバル商人でした。また、ポローニャ大学で法律を学んだ人文主義者であり、さらに祖国の外交官として活躍し、晩年はナポリ王フェルディナンド1世の寵愛を受けて、当地の財政総監と造幣局長を歴任しました。

彼が商人として過ごした生涯を自ら振り返りながら執筆したのが、1458年8月にナポリ近郊で書き上げられた『商業技術の書』です。しかしこの書物は出版されることなく、それが日の目を見たのは、執筆から1世紀以上たった1573年のことで、ヴェネツィアで『商業と完全なる商人について』というタイトルで刊行されました。1620年には北イタリアのプレッシャで再版され、フランス語訳も1582年にリヨンで刊行されています。

コトルリの著作は、かねてより一部の会計史家によって注目されていました。というのは、その第1巻第13章に、複式簿記の記帳をうかがわせる箇所が見いだされるからです。会計史において、帳簿に取引上の事項を「借方」と「貸方」として二重に記入する方法はたいへん重要なもので、13世紀の北イタリアで創出されたようです。しかし、その方法が体系的に記述されたのは、1494年にヴェネツィアで刊行された、ルカ・パチョーリの『算術、幾何、比および比例総覧』（略称『スンマ』）においてです。もし、コトルリが本当に複式簿記について記しているならば、パチョーリよりも36年前のことになります。

この疑問は20世紀後半に、フィレンツェの二つの図書館で発見された、『商業技術の書』の写本によって解決されました。そこには明確に「貸方」と「借方」についての記述があり、16世紀の刊本では当該箇所が大幅に省略されていたことが分かったのです。そののち、マルタの国立図書館から、最良と考えられる写本も発見され、それらをもとに信頼しうる校訂版が刊行されて、現在デジタル版として公開されています（2016年）。

本シンポジウムにおいては、これら三つの写本、および最初の刊本を比較しながら、校訂版のテキストの刊行へといたる、編集文献学上の過程についてお話いたします。また、昨年刊行されました、『商業技術の書』を主題別にまとめた『世界初のビジネス書』（アレックス・ヴァグナー編、伊藤博明訳、すばる舎）に基づきながら、全体的な内容について簡単に紹介いたします。そして、ルネサンスの「もの書き商人」（クリスチャン・ベック）の中でも、ひとときユニークなコトルリの人文主義者としての側面について明らかにしたいと思います。



写真：会計史を変えた校訂版『商業技術の書』（成城大学図書館所蔵）

提題者プロフィール



伊藤博明（いとうひろあき）

1955年北海道美幌町生まれ。1978年北海道大学文学部哲学科卒業。1984～86年、イタリア政府給費留学生としてフィレンツェ大学に留学。1986年北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。埼玉大学教養学部教授、副学長を経て、現在、専修大学文学部教授。同大学院文学研究科長。埼玉大学名誉教授。放送大学客員教授。日本学術会議連携会員。専門はヨーロッパの思想史・芸術論。主な業績として『ヘルメスとシビュラのイコノロジー』（ありな書房）、『ルネサンスの神秘思想』（講談社学術文庫）、『アート・ギャラリー10 象徴と寓意』（集英社）、『ヨーロッパ美術における寓意と表象』（ありな書房）、『綺想の表象学——エンブレムへの招待』（ありな書房）、『哲学の歴史5 ルネサンス』（編著、中央公論新社）がある。

会場案内

小田急線「成城学園前」駅より徒歩4分

- ・ご来場の際は、マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・37.5度以上の発熱がある方は、会場へのご入場をお断りさせていただきますので予めご了承ください。

